



「第23回研究発表会」のお知らせ

発表会会長 細野 明男（新日鐵室蘭総合病院）
実行委員長 林 純美（聖母会天使病院）

会 期	1998年5月23日（土） 9:30 - 17:25 日程 5月24日（日） 8:30 - 15:40 日程
会 場	<p><研究発表会> 札幌医科大学教育研究棟 1 F 大講堂 2 F 第1臨床講義室 〒060 札幌市中央区南1条西16丁目 TEL 011-611-2111</p> <p><懇親会> ライオン「ローレライ」 札幌市中央区南4条4丁目 恵愛ビル地階 TEL 011-251-3843</p> <p>ご案内</p>
研究発表会長	細野 明男（会長のご挨拶） 新日鐵室蘭総合病院 〒050-0076 室蘭市知利別町1-45 Tel 0143-44-4650
実行委員長	林 純美 聖母会天使病院 〒065-8611 札幌市東区北12条東3丁目31番地 Tel 011-711-0101
メインテーマ	「患者にやさしい超音波」
内 容	<p>1. 特別講演 司会：林 純美（聖母会天使病院） 「デジタル化が進む画像診断の今後と、超音波診断の位置づけ」 名取 博 SJSUM（札幌医科大学付属病院機器診断部）</p> <p>2. 教育講演 司会：細野 明男（新日鐵室蘭総合病院） 「超音波検査機器の進歩と検査医学のありかた」 福田 守道（札幌医科大学名誉教授）</p> <p>3. 会長講演 司会：遠田 栄一（三井記念病院） 「超音波に魅せられて」 細野 明男（新日鐵室蘭総合病院 放射線科）</p> <p>4. 教育セミナー 司会：那須 俊一（札幌医科大学付属病院） 『カラードブラの応用技術』 1. ドブラ検査の基礎知識 松崎 正史（アロカ株 第1営業部営業技術1課） 2. 腹部領域におけるカラードブラ法の活用術について：その活用分野と検査上のコツ 栃尾 人司（神戸市立中央市民病院 臨床病理科）</p> <p>5. 特別企画 『患者にやさしい超音波』 「患者の立場から」 小野 恵子さん</p> <p>6. シンポジウム 座長：今井 孝一（市立小樽病院） 前田 純子（海上ビル診療所） 『超音波検査の信頼性、他画像診断との比較』 <ul style="list-style-type: none"> • 23-S1 肝血管腫診断における腹部超音波検査の臨床的意義 ○川地 俊明（大垣市民病院 健康管理センター） • 23-S2 胆道系疾患における超音波検査の有用性—他画像診断との比較 ○大宮 雅之（滝川市立病院 放射線科） • 23-S3 血尿原因の発見—特にハツクワカ現象の早期診断のために ○大沼 孝司（浦河赤十字病院 放射線部） • 23-S4 婦人科領域での画像診断 ○永江 学（聖マリア医科大学病院 超音波センター） • 23-S5 副甲状腺腫の局在診断 ○桜井 正児（聖マリア医科大学病院 超音波センター） • 23-S6 乳腺腫瘍に対する超音波の有用性 ○白井 秀明（札幌ことに乳腺クリニック） • 23-S7 肩関節—特に腱板断裂について ○白石 秀一（東海大学医学部付属病院 中央臨床検査部） </p>

	<ul style="list-style-type: none"> • 23-S8 乳幼児股関節工コー ○中西 富美子（北海道動医協札幌西区病院 検査科） <p>7. ケースカンファレンス 「なんだろうこれ」抄録をごらんになり、考えて下さい。 司会：関根 智紀（旭中央病院） コメンテーター：平田 健一郎（札幌医科大学医学部機器診断部）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 23-C1（腹部）○山下安夫（東北労災病院 腹部超音波室） • 23-C2（腹部）○金城澄江（新東京病院 生理検査室） • 23-C3（表在）○仲野浩（埼玉医科大学附属病院 中央超音波室） <p>司会：戸出 浩之（北関東循環器病院） コメンテーター：三神 大世（北海道大学医療短期大学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 23-C4（循環器）○小松俊雄（厚生連富士見高原病院 臨床検査科） • 23-C5（循環器）○本間一博（市立釧路総合病院 検査科 生理検査室） • 23-C6（循環器）○矢澤信之（新東京病院 生理検査室） <p>8. 一般演題 60題</p>
問い合わせ先	<p>江戸川区医師会医療検査センター 生理検査科 阿部 文子 TEL 03-3652-7800（直通）</p> <p>*月曜日から金曜日の15：00 - 16：00の間にお問い合わせいたします。</p>

事前登録のお願い

超音波検査技術 Vol.23 No.1

に同封されている郵便払込用紙に所定事項をご記入の上、登録料（¥3000）をお振込下さい（当日登録は¥3500になります）。
尚、懇親会参加費も事前払い込みでは¥4000となります（当日申し込みは¥4500となります）。



「第23回研究発表会」のお知らせ

第23回 研究発表会日程

5月23日（土）（大講堂 1F）

時間	演題名	演者	座長
9:30 - 9:55	開会の辞		
10:00 - 10:50	一般演題（機器） <ul style="list-style-type: none"> 23-1 デジタル超音波診断装置HDI3000による3次元画像表示システムの使用経験 23-2 腹部領域におけるTissue Harmonic Imaging法の有用性とピットフォールについて（第一報） 23-3 最新の超音波装置の使用経験 23-4 腹部超音波検査画像ファイリングシステムの使用経験について 23-5 当センターにおける検診PACS-超音波画像ファイリングシステムを中心に 	谷内 亮水 坂口 勝哉 木村 もと子 片野 裕司 有田 信和	余門 誠
10:50 - 12:00	教育セミナー 『カラードブラの応用技術』 1. ドブラ検査の基礎知識-- アロカ（株）第1営業部営業技術1課 主任 松崎 正史 2. 消化器分野におけるカラードブラの応用技術-- 神戸市立中央市民病院 梶尾 人司		那須 俊一
12:00 - 13:00	休 憩		
13:00 - 14:00	教育講演 『超音波検査機器の進歩と検査医学のあり方』 福田 守道（札幌医科大学名誉教授） 司会 細野 明男（新日鐵室蘭総合病院）		
14:10 - 15:10	一般演題（産婦人科・その他） <ul style="list-style-type: none"> 23-35 消化管原発の転移性卵巣腫瘍の超音波像 23-36 超音波経腹法による子宮体部の正常値算出の試み 23-37 胎児発育診断の精度管理-IUGRを中心に 23-38 子宮内胎児発育遅延(IUGR)における臍帯動脈ドブラ検査の評価 23-39 胎児内胎児の一例 23-40 当院における乳児股関節エコー5年間のまとめ 	宮越 基林 純美 岩崎 昭宏 大塚 順子 宇治橋 善勝 松田 安正	藤原 雅之
15:10 - 15:20	第24回研究発表会 会長挨拶		
15:25 - 17:25	シンポジウム 『超音波検査の信頼性、他画像診断との比較』 <ul style="list-style-type: none"> 23-S1 肝血管腫診断における腹部超音波検査の臨床的意義 川地 俊明 大垣市民病院 23-S2 胆道系疾患における超音波検査の有用性－他画像診断との比較 大宮 雅之 滝川市立病院 23-S3 血尿原因の発見 大沼 孝司 浦河赤十字病院 23-S4 産婦人科領域での画像診断 永江 学 聖マリアンナ医科大学付属病院 23-S5 副甲状腺腫の局在 桜井 正児 聖マリアンナ医科大学付属病院 23-S6 乳腺腫瘍に対する超音波の有用性 白井 秀明 札幌ことに乳腺クリニック コメント 中込 誠 江戸川区医師会医療検査センター 23-S7 肩関節-特に腱板断裂について 白石 周一 東海大学医学部付属病院 23-S8 乳児股関節エコー 中西 富美子 北海道勤医協札幌西区病院 		今井 孝一 前田 純子
18:30 - 20:30	懇 親 会（ローレライ）		

5月23日（土）（第一臨床講義室 2F）

時間	演題名	演者	座長
----	-----	----	----

10:00 - 10:40	<p>一般演題（表在）</p> <ul style="list-style-type: none"> 23-6 瀰漫性甲状腺疾患の血流状態についての検討1 23-7 FDG集積を認める び慢性甲状腺疾患の超音波所見について 23-8 超音波断層法による乳腺の年齢的变化についての検討 1 23-9 乳腺超音波検査法の当センターでの検討 	<p>来住野 修 徳島 修 黒田 正徳 山下 あけみ</p>	<p>高梨 昇</p>
10:40 - 11:10	<p>一般演題（循環器）</p> <ul style="list-style-type: none"> 23-16 再灌流療法に成功した急性心筋梗塞慢性期の心筋内血流 23-17 左心耳血流速度についての検討 －経食道心エコー図法を用いて 23-18 術後仮性動脈瘤の超音波所見 	<p>千久田いくみ 築地 日出文 長瀬 雅彦</p>	<p>高橋 斉</p>
11:10 - 11:50	<p>一般演題（循環器）</p> <ul style="list-style-type: none"> 23-19 心筋コントラストエコー法による心筋染影度評価 23-20 心エコー検査による心腔内血栓形態の比較検討 －4症例を提示して 23-21 三尖弁縫縮術後の三尖弁機能変化に関する検討 23-22 乳酸脱水素酵素値による 僧帽弁位機械弁周囲逆流検出の精度に関する検討 	<p>高橋 斉 福西 雅俊 塩野谷 恵美 種村 正</p>	<p>本間 一博</p>
11:50 - 14:10	<p>休憩</p>		
14:10 - 15:10	<p>ケースカンファレンスI 『なんだろうこれ？』腹部・その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 23-C1 腹部領域 23-C2 腹部領域 23-C3 表在領域 	<p>山下 安夫 金城 澄江 仲野 浩</p>	<p>関根 智紀 コメンテーター 平田 健一郎 先生</p>



「第23回研究発表会」のお知らせ

第23回 研究発表会日程

5月24日(日) (大講堂 1F)

時間	演題名	演者	座長
8:30 - 9:10	一般演題 (消化器・その他) <ul style="list-style-type: none"> 23-41 仮性動脈瘤による脾仮性嚢胞内出血の一例 23-42 悪性リンパ腫に合併した腎周囲膿瘍の1症例 23-43 胃潰瘍の超音波診断 23-44 先天性肥厚性幽門狭窄症における超音波像の検討 	石元 嘉告 大谷 伸生 西田 睦落合 直子	高須賀 康宣
9:10 - 10:00	一般演題 (泌尿器) <ul style="list-style-type: none"> 23-45 成人型Wilms腫瘍の超音波像 - 乳腺転移を伴った1例 23-46 描出が難しい腎細胞癌の超音波所見の検討 23-47 糖尿病腎症の超音波ドプラ法による腎血流動態の検討 23-48 超音波Doppler法による移植腎血流連日測定意義について 23-49 経過観察中に自然消失した腎動脈瘤の一例 	寺島 茂 八島 香代 岩下 浄明 平井 良武 永田 正明	三浦 融
10:00 - 10:30	一般演題 (消化器) <ul style="list-style-type: none"> 23-50 当院における腹部超音波検診の再現性 23-51 上腹部超音波検査とCT検査における描出能の比較検討 23-52 超音波における皮下脂肪・内臓脂肪と脂肪肝との関連性についての検討 	森 晴雄 青木 紀子 榎本 葉子	八島 香代
10:35 - 11:05	会長講演 『超音波に魅せられて』 細野 明男 (新日鐵室蘭総合病院) 司会 遠田 栄一 (三井記念病院)		
11:05 - 12:05	特別企画 『患者にやさしい超音波』 <ul style="list-style-type: none"> 23-59 患者さんとのコミュニケーションについて 23-60 検査中の患者安全管理 講演「」小野 恵子さん 	鬼柳 かおり 高橋 秀一	佐藤 圭永
12:05 - 13:00	休憩		
13:00 - 13:30	総会		
13:30 - 14:30	特別講演 『デジタル化が進む画像診断の今後と超音波診断の位置づけ』 名取 博 SJSUM (札幌医科大学機器診断部教授) 司会 林 純美 (聖母会 天使病院)		
14:40 - 15:40	一般演題 (消化器) <ul style="list-style-type: none"> 23-53 超音波検査で肝膿瘍と鑑別困難な肝転移像を呈した脾多形細胞癌の一例 23-54 職域成人病検診における肝血管腫の検討 23-55 腫瘍生検にて肝細胞癌と診断された106結節の超音波像の検討 - 検出腫瘍径の分化度, エコーパターンについて 23-56 IFN療法患者における経時的超音波所見の推移 - 投与終了後3年以上を経過した症例における検討 23-57 超音波ドプラ法を用いた肝硬変症における脾静脈血流量 - 門脈本幹血流量比(SV-PV比)と食道静脈瘤の関係 (2年間の経過観察) 23-58 特異なパターンを示した転移性肝癌の一例 	鬼頭 里加 矢野 宏枝 崎田 靖人 安田 純子 椿 哲弥 中西富美子	松田 安正
閉 会			

5月24日(日) (大講堂 1F)

時間	演題名	演者	座長
8:30 - 9:00	一般演題 (循環器) <ul style="list-style-type: none"> 23-23 超音波検査法による橈骨動脈の評価の有用性 - 経橈骨動脈アプローチによるインターベンション前後における検討 	星野 哲 山本 真一 三浦 絵里花	倉重 康彦

	<ul style="list-style-type: none"> 23-24 頸動脈エコーを用いた動脈硬化危険因子の検討 23-25 循環器疾患患者における腹部大動脈疾患の頻度に関する検討 		
9:00 - 9:30	<p>一般演題（循環器）</p> <ul style="list-style-type: none"> 23-26 反応性充血試験を用いた血管拡張反応の超音波による検討；喫煙者，非喫煙者及び喫煙中止者を対象として 23-27 下肢静脈瘤における超音波検査の有用性について（Duplex法による検討） 23-28 カラードプラ法を用いた下肢静脈瘤に対する結紮術併用硬化療法の評価 	松元 香緒里 中村 英文 中島 里枝子	武田 美奈朱
9:30 - 10:10	<p>一般演題（循環器）</p> <ul style="list-style-type: none"> 23-29 心エコー図法による左室一回拍出量の計測に関する検討 23-30 心エコー図法の精度管理について -パルスドプラ法の検討 23-31 高齢者における左室拡張能基準値の検討 23-32 Power Doppler法を用いた心機能評価の試み 	竹内 伸子 小林 仁 田中 佐代子 高木 秀祐	水上 尚子
10:10 - 10:30	<p>一般演題（循環器）</p> <ul style="list-style-type: none"> 23-33 心室内腫瘍を伴った結節性硬化症の1例 -経病的な心エコー図の観察を中心に 23-34 小児における心嚢液貯留の1例（ウイルス性心膜炎） 	牟田 勇 神野 洋彰	種村 正
11:05 - 11:35	<p>一般演題（表在）</p> <ul style="list-style-type: none"> 23-10 超音波乳癌検診(第4報)5年間の成績 23-11 脂肪組織よりも高エコー像を呈した乳房腫瘍 23-12 Power Doppler法が診断に有用であった非触知性乳癌の2症例 	平山 現生 富樫 保行 橋本 優子	来住野 修
11:35 - 12:05	<p>一般演題（表在）</p> <ul style="list-style-type: none"> 23-13 乳腺濃縮嚢胞における超音波像の検討 23-14 乳腺浸潤性小葉癌の超音波学的検討 23-15 経過観察中に乳癌と診断された超音波画像の検討 	高梨 昇 鈴木 秀明 安藤 美穂子	櫻村 淳子
12:05 - 14:40	休憩		
14:40 - 15:40	<p>ケースカンファレンスII 『なんだろうこれ?』循環器</p> <ul style="list-style-type: none"> 23C-4 循環器領域 23C-5 循環器領域 23C-6 循環器領域 	小松 俊雄 本間 一博 矢澤 信之	戸出 浩之 コメンテーター 三神 大世 先生



「第23回研究発表会」のお知らせ

研究発表会参加者の方へ

日本超音波検査学会第23回研究発表会
発表会会長 細野 明男

1. 受付

教育研究棟1Fロビーの受付にて登録証とネームプレートを交換して下さい。

(この際懇親会にも事前に申し込まれた方には懇親会参加チケットも 差し上げます) ネームプレートは所属・氏名を記入し、会場内では必ず御着用下さい。尚事前登録をお済ませでない方は、登録が必要です。この際3,500円の登録料を申し受けます。

2. 年会費・入会

会場での取り扱いは致しません。

3. クローク

会期中、会場に開設いたします。

4. 講演抄録集

会場にて1部1,500円にて領付いたします。ただし、部数に限りがありますので早めにお求め下さい。

・ A. 演者の方へ

1. 演者は各セッションの開始時刻の30分前迄にスライドの受付をお済ませ下さい。この際、一般演題の非会員の共同演者につきましては1人に付き1,000円を申し受けます。

2. 演者はスライドを各自ホルダーにいれ、試写してご確認下さい。

3. スライド枚数は一般演題10枚以内とします。

4. VTRをお使いになる方はスライドと共にスライド受付にお渡し下さい。

5. プロジェクターの使用は一般演題、シンポジウムとも1台です。

6. 次演者は前発表者の発表が始まりましたら、速やかに会場前部の次演者席にご着席下さい。

7. 口演時間は一般演題7分ディスカッション2分、シンポジウムは11分です。進行については、各セッションの座長に一任します。

8. スライドビデオの返却はご発表のセッション終了後にいたします。

・ B. 座長の方へ

ご出席の確認をいたしますので、所定の30分前までに受付までお越し下さい。また担当時刻の前には次座長席にご着席下さい。

・ C. 超音波検査士の方へ

本研究発表会の参加及び発表(各5単位)は、超音波検査士資格更新申請時の取得単位として加算されます。参加証明となる参加証、及び発表者本人は抄録集も併せて保管して下さい。



「第23回研究発表会」のお知らせ

ごあいさつ

日本超音波検査学会第23回研究発表会
発表会会長 細野 明男

前回の研究発表会は東京のすみだリバーサイドホテルにて開催され、発表会長の諸井中氏の素晴らしい企画によって大成功に終わりました。その時のテーマは、「SONOGRAPHY-技と進歩、そして心-」という素晴らしい内容でした。今回は、私どもが発表会長を務めることになりましたが、前回のテーマを引き継いで「患者に優しい超音波検査」を目指したいと願っております。

最近、日本における医療制度の在り方が問題となっておりますが、その背景には高齢化社会や高度医療機器の発展による「医療費の高騰」や、出来高払い制度による「薬づけ検査づけ医療」などが上げられています。また、日本では医療がもたらす放射線被曝が世界平均の5倍に当たると推定されており、「医療被曝大国、日本」といわれる程です。今後、各種画像診断がさらに発達し医療制度がどのように改革されようとも、便利で安全で経済的な超音波検査を優先し、その能力を最大限に有効活用することが患者のためになると確信しております。その為には、超音波検査の信頼性をより高めること、進歩する最新技術を応用すること、適応領域をさらに広めることが大切であり、超音波検査士としての専門性をより高めることも求められます。

今回のシンポジウムは「超音波検査の信頼性、他画像診断との比較」といたしました。超音波の信頼性を確認して、その有効活用を世に広めたいと願っております。教育講演は、世界的に有名な超音波医学者である福田守道先生にお願いし、「超音波検査機器の進歩と検査医学の在り方」について貴重な講演をしていただきます。特別講演は、「デジタル化が進む画像診断の今後と超音波診断の位置づけ」という演題で札幌医科大学教授の名取博先生にお願いしてあります。また、医療従事者の基本はバイシエントケアですので、それに関するセッションも設けました。北海道の春は本州より遅れ気味ですが、色々な花が一気に咲き出すので楽しい季節です。特に5月後半は札幌の花ライラックが満開の時期で、「さっぽろライラックまつり」も行われます。まつりの中心となる大通公園には、紫や白のライラックが400本以上も植えられており、可憐な花を咲かせ、甘い香りを漂わせます。気温も暖かい季節なので気持ちよくライラックの花見が楽しめます。ライラックのように人の心を和ませる優しい研究発表会にしたいと願っております。5月23日(土)には懇親会も予定しております。多くの方々のご参加をお待ちしております。超音波検査の有効活用が「患者に優しい医療」となり、私たちの研究活動が社会貢献に繋がることを願って、ご挨拶といたします。

↑Page up